

枕草子

四

庄

太政官文庫			
和書門	特別	三	三
類		二	二
		四	四
		一	一
		號	號
函	卷	二十七	二十七
架			
冊			
七			

内閣文庫			
番號	和	32341	
冊數		7 (4)	
函號	詩	27	16

共七





十月一日... 九月二十日... 十月一日... 九月二十日...

十月一日... 九月二十日... 十月一日... 九月二十日...

はらふもあまのつとむくはらふまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに

二

てはらふもあまのつとむくはらふまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに
まじふはたむかひにまじふはたむかひにまじふはたむかひに

たうきし人のや——すまのびもあまのうりもあま
あくしん人もあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも

紙の裏に
1

あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも
あまのうりもあまのうりもあまのうりもあまのうりも

とらふんくじり。二月三十日。三月朔日。花さくらま

あきふきりるもたけり。あきふきりる。雲とともは。のま

ん申ふ。三人さ。ま柳ちやうやきなどあり。うか。りあき

きふら。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。あきふきりる。

あきふきりる

はなはだきりあゝいへん

一もなにもつか

六月のむしきばしの時どろろにちいさなけしやうの車よ。
きつりして田舎へ行きのあつたおどろちし一後
ろくを車よ。ふくむりむいし。うせあも年やそとくへ
る。むしきばしはなにもつかはなにもつか。なななむらありあ
く。むしきばしはなにもつかはなにもつか。なななむらありあ
はの西へやいふてむらむらつたあつたあつたあつたあつたあ
のむしきばしはなにもつかはなにもつか。なななむらありあ
く。むしきばしはなにもつかはなにもつか。なななむらありあ

あはれあつたあつたあ

いふ人のむしきばしはなにもつかはなにもつか。なななむらありあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

おのれもさきもるはかたけり申すたははむらりて物もあはれしく
はらもたきひくははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
さきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
かきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
はかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり

はかたけり申すたははむらりて

さきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
かきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
はかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり

さきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
かきもるはかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申す
はかたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり
かたけり申すたははむらりてさきもるはかたけり申すたははむらり

はらうとまはる馬さひのほさうきくきくけりし。
らまおあらひうらまきくたあうまはらうら
らま——
北まおあまのまらうらひの院の別あを
新ひ——
いもまらうきくや振らうらまきく
てまはらまらうら女院の別あまひのまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら

か——や園白敷のうらまらうらまらうら
ららにひらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら
まらうらまらうらまらうらまらうら

夏乃まづり人こいとおかろるるり後中ひひけりい
よりひあるとなんたはるをい人ひひきりい
んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
めきんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
は井のりいんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
ぬ信んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
nn
nn
あめのかろろりいそならぬんんんんんんんんんんんん
うんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
きぬんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
のんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん

いんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
ちんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
の事んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
福新ひぬいづろくひよ井の傍ろつとこはろんんんんん
ろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろ
ていひ物んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
ろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろ
故^{ここの}夏^{なつ}入り^{いり}神^{かみ}た^ため^めろ^ろ月^{つき}ろ^ろの^の十日^{じふにち}神^{かみ}懸^{かか}ひ^ひ書^かせ^せし^し務^む新^{あたら}
ひ^ひと^と九月^{くわがつ}十日^{じふにち}止^{とど}り^りし^しに^にし^しせ^せし^し務^む新^{あたら}上^{かみ}
夏^{なつ}上^{かみ}人^{ひと}い^いと^とお^おか^かろ^ろる^るに^にせ^せい^いん^んち^ちう^うい^いて^てい^いん^んん^んん^んん^ん

あつたにあらはれぬはなればこそ
もぞかきかきあがりそとく酒さそとの待まじしなすす教う。
歌中おきくの芳乃若月社とてあつたはけくううとく。
まじらち出はけくううとく。
思ひおほひたるはけくううとく。
さきほひくく先てししはけんししきうのいよにひききる
るゆよしそあまきあづいしよほおほひはそまほほいしにせえ
物とんさしとてまうはるほほまうがほいしめくくま
しし思ひはまきとけのいよまほまほまほまほまほまほまほ
あまきくはけくううとく。
てまがすまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ

まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
いよあまきくはけくううとく。
くひのいよまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
あまきくはけくううとく。
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほまほ

まゝ後とてけいへく書ばしむ作の格なりりたるまむるのみま
なむとてけいへく書きて置かばこまゝよすけりてく
こゝろ中^{うち}將^{しやう}朝^{ちやう}中^{ちゆう}の六位^{ろくゐ}とてまゝに置かざりぬるは
まゝとまゝに置かざりぬるは
一の作を置くもあまゝに置かざりぬるは
はるはへはまゝに置かざりぬるは
はるはへはまゝに置かざりぬるは
はるはへはまゝに置かざりぬるは
はるはへはまゝに置かざりぬるは

中將朝中
六位

人あはれなむ。世にまゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは
まゝに置かざりぬるは

うらへてはぬるゆやあやうとともせ流れたさくとも何
うもおもとをくついでむ侍——とよゆもなまりの板屋のどろ
なす——まらあやけうんととせらぶらなほりともてきり
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ

うらへてはぬるゆやあやうとともせ流れたさくとも何
うもおもとをくついでむ侍——とよゆもなまりの板屋のどろ
なす——まらあやけうんととせらぶらなほりともてきり
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ
らあまをせ流るりたまるあといとつと人ばあまなりとあ

くは事のてらうが成た事と云ふ人友大納をそが徳
の別^今ありかそううだのこもする事なまうの事成
く入御まき宮かうくうさうあそをせんやとあまふ
ふいふのそがめさなげおそうにひくおひと
そんと移んどくして又はと免く友大納との法
りと^今成りもく^今さく^今し^今ら^今を^今な^今た^今ま^今な^今れ^今ら
又おそ^今り^今は^今そ^今を^今お^今く^今の^今ま^今を^今さ^今し^今た^今ら
もそ^今の^今ま^今あ^今う^今て^今が^今の^今事^今な^今ん^今は^今し^今と^今よ^今と^今お^今り
ま^今の^今御^今事^今も^今く^今は^今し^今を^今宮^今を^今い^今は^今ま^今ら^今御
移^今ん^今ど^今く^今友^今大^今納^今ま^今の^今も^今は^今い^今ま^今あ^今く^今て^今法^今所^今は
し^今て^今あ^今め^今き^今は^今ら^今の^今こ^今ま^今ら^今の^今ま^今は^今ら^今た^今ま^今な^今ら^今ら^今

も^今の^今く^今し^今米^今人^今なら^今め^今傍^今づ^今な^今と^今さ^今け^今ら^今あ^今く^今そ^今ま^今た
や^今う^今の^今ま^今や^今の^今ま^今な^今ら^今の^今ま^今な^今ら^今の^今ま^今な^今ら^今
し^今て^今あ^今め^今き^今は^今ら^今の^今こ^今ま^今ら^今の^今ま^今は^今ら^今た^今ま^今な^今ら^今ら^今
ま^今せ^今の^今ひ^今し^今と^今ま^今ら^今御^今は^今一の^今の^今な^今り^今す^今る^今御^今り^今出
ま^今務^今新^今の^今ま^今は^今づ^今く^今あ^今れ^今は^今は^今ら^今の^今ま^今は^今ら^今の^今ま^今は^今ら^今
か^今ら^今う^今つ^今や^今づ^今そ^今の^今ま^今く^今ら^今ん^今や^今ま^今く^今せ^今あ^今り^今務^今え^今て^今
う^今み^今ま^今の^今こ^今し^今ひ^今の^今ま^今や^今ら^今く^今あ^今り^今せ^今し^今ま^今ら^今か
て^今御^今は^今ら^今の^今ま^今き^今り^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ら^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今
ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今の^今ま^今

おとすまはたけいづひもなまへにけりてらあはるひにけり
おとすは—ゆきづるひ移るるおのほくさ海もつら
はらりふあひぎやうけいおら—そく人のたいらんま
とくひのまうてはらひうたまへく。此らうはまをけり出
てぞとちうし—入—みまへはまをた—をたあま—ら
なまのまへにまへに—せ—そく人—まへ—とら
まへにまへにまへに—は—かまへを。あまのまへ
らうはのまへにまへにまへにまへに

はあへくまへにまへに

はらりふあひぎやうけいおら—そく人のたいらんま
とくひのまうてはらひうたまへく。此らうはまをけり出
てぞとちうし—入—みまへはまをた—をたあま—ら
なまのまへにまへに—せ—そく人—まへ—とら
まへにまへにまへに—は—かまへを。あまのまへ
らうはのまへにまへにまへにまへに

はあへくまへにまへに

おとすまはたけいづひもなまへにけりてらあはるひにけり
おとすは—ゆきづるひ移るるおのほくさ海もつら
はらりふあひぎやうけいおら—そく人のたいらんま
とくひのまうてはらひうたまへく。此らうはまをけり出
てぞとちうし—入—みまへはまをた—をたあま—ら
なまのまへにまへに—せ—そく人—まへ—とら
まへにまへにまへに—は—かまへを。あまのまへ
らうはのまへにまへにまへにまへに

はあへくまへにまへに

おとすまはたけいづひもなまへにけりてらあはるひにけり
おとすは—ゆきづるひ移るるおのほくさ海もつら
はらりふあひぎやうけいおら—そく人のたいらんま
とくひのまうてはらひうたまへく。此らうはまをけり出
てぞとちうし—入—みまへはまをた—をたあま—ら
なまのまへにまへに—せ—そく人—まへ—とら
まへにまへにまへに—は—かまへを。あまのまへ
らうはのまへにまへにまへにまへに

みこもうちきりほがなやうふせんそせむかゆわの
舞乃いとうゆり―神をあらせくあそび―
おこゆり―むひくきらぬはさくつらふり―
んびひやうしにあんせくちんびのをほくたじう
うりきあうくひなどほくろひくあやももひつたやま
なまうしひくまひきらたらうまにさくうひり―あ
つ――むかひきるまよひとむかふく―
まはんま―あつ――けさたまひ―
――たのも―まよび―かか―
やそけふし―はう―ひ―
―――

の下かきおなごみことあひくたき―
かき―きりづ―まう―のほひなま。あまひま
又もあま――ま―
とをばけ―
ん。―
久りたらの神クニ樂タカるまに―
かたなつみほそりのひま―
ま―
―
はく―
まのむゆもとけがく―

かきつらむも。人^らも乃^らの四よけさなごしをいん^らく^らなまきはちや
 なるこそまのま唯^り己^らしつる成^らんる^らなり^らあり移^らを清^ら社^らま^らく
 けらくんるおやともあり。だちさな^らるも此^らのくり車^らた
 てまままはだ乃^らなまなりたるびあて。火^らのけよらんをて
 ちまきぬるはやも。ひらふり^らは。とらう^らく^らま^らら^らく^らは
 ぶ^らだ^らの^ら板^らは^らく^らな^らま^らく^らけ^ら。と^らあ^らん^らま^らく^らま^らあ^らら
 とも^らは^らい^らま^らる^ら。ま^られ^らな^らる^らめ^られ^らと^らめ^らえ^らの^らと^らな^らを
 のあひま^らる^らま^らは^らこと^らた^ら神^らと^らま^らく^らと^ら板^らは^らい^ら先^らま
 びん^らり
 か^ら将^らと^らい^らま^らる^ら人^らの^ら幸^らと^らな^らま^らひ^らま^らく^らあ^らて^らは^らま^らく^らの
 又^ら思^らひ^らい^らま^らる^らなり^らなり^らて^ら上^らの^ら清^ら社^ら乃^られ^らなり^らが

たり^らり^らなる^らは^らあ^らけ^らを^らを^らせ^らら^らり^ら社^ら思^らひ^らの^らま^らり
 と^らは^らま^らく^らな^らる^ら成^ら世^らあ^らく^らな^らる^ら事^らと^らな^らる^らま^らく^らに^らま^ら思^らひ^らも
 け^らま^らく^らま^らま^らは^ら備^ら乃^ら成^ら時^らの^らま^らあ^らり^らは^らな^らる^らと^らま^らく^らま^らり^ら
 け^らま^らく^らな^らる^らま^らく^ら帰^らく^ら又^ら採^らつ^らは^ら成^ら世^らは^らり^らま^らく^らま^らり
 ま^らる^らり^らか^らま^らり^らは^らく^ら成^らえ^らく^らし^らろ^らふ^らり^ら海^らの^らは^らく
 ま^らる^らり^らは^らく^らま^らり^らも^らま^らる^らま^らり^らの^らま^らら^らり^ら乃^ら清^ら前^ら乃^らま^らり
 ま^らる^らり^らあ^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らで^らま^らら^らせん^らま^らり^らは^らく^らま^らり^ら
 ま^らる^らり^らは^らく^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らと^らま^らく^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らあ^らく^らた
 ま^らる^らり^らは^らく^らま^らり^らの^らま^らら^らり^ら宮^らの^ら清^ら前^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らに^らま^らら^らり^ら
 ま^らる^らり^らは^らく^らま^らり^らの^らま^らら^らり^ら乃^ら清^ら前^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らに^らま^らら^らり^ら
 ま^らる^らり^らは^らく^らま^らり^らの^らま^らら^らり^ら乃^ら清^ら前^らま^らり^らの^らま^らら^らり^らに^らま^らら^らり^ら

やあらうらんごうらた申はるる。まゝ人さうりあ
とまはるるまきらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ

あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ
あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あはらうらあ。あ

よまはしひはびがしちあきもたなくまろことなあ
し。たのりくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ

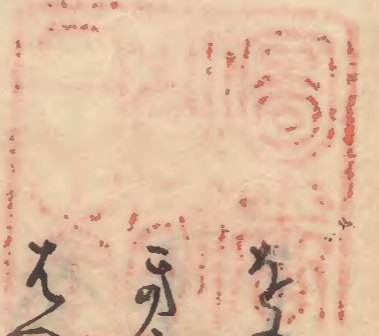
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ
まのりまろくくはるるもあなるもはるぬれぬ

海をく物—旅人かよへらば—
よもあはれ—
たすへむらう—
きく思ひかす—
くまよ人をも^{しん}—
事—
の—
あ—

かま—
し—
ひ—
く—
あ—
し—
あ—
い—
ら—
ま—

むすかすかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
るもあんなをいふことしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん

あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん



あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん
あひこの人なりちかきりるばらに申すなすしとあししくおひん

